

日本薬局方 **炭酸水素ナトリウム**

炭酸水素ナトリウム 恵美須

日本標準商品分類番号	872344
承認番号	61AM-2436
薬価基準取載	1986年3月
販売開始	1986年3月
再評価結果	1980年3月
薬効分類名	制酸剤

**SODIUM BICARBONATE**

**【禁忌】**（次の患者には投与しないこと）

（経口）

ナトリウム摂取制限を必要とする患者（高ナトリウム血症、浮腫、妊娠中毒症等）〔ナトリウムの貯留増加により症状が悪化するおそれがある。〕

**【組成・性状】**

本品は定量するとき、炭酸水素ナトリウム（ $\text{NaHCO}_3$ ）99.0%以上を含む。  
本品は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、特異な塩味がある。  
本品は水にやや溶けやすく、エタノール(95)又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。本品の水溶液（1→20）のpHは7.9～8.4である。  
本品は湿った空气中で徐々に分解する。

**【効能又は効果】**

（経口）下記疾患における制酸作用と症状の改善

胃・十二指腸潰瘍、胃炎（急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む）、上部消化管機能異常（神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む）。  
アシドーシスの改善、尿酸排泄の促進と痛風発作の予防。

（含嗽・吸入）上気道炎の補助療法（粘液溶解）

**【用法及び用量】**

（経口）

炭酸水素ナトリウムとして通常成人1日3～5gを数回に分割  
経口投与する。

（含嗽・吸入）

1回量1～2%液100mLを1日数回用いる。  
なお、年齢、症状により適宜増減する。

**【使用上の注意】**

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- 1) 重篤な消化管潰瘍のある患者  
〔胃酸の二次的分泌(リバウンド現象)により症状が悪化するおそれがある。〕
- 2) 腎障害のある患者〔ナトリウムの貯留により症状が悪化するおそれがある。〕
- 3) 心臓障害、肺機能障害のある患者  
〔ナトリウムの貯留により症状が悪化するおそれがある。〕
- 4) 低クロル性アルカローシス等の電解質失調の患者  
〔症状が悪化するおそれがある。〕

2. 相互作用

1) 併用禁忌（併用しないこと）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
マンデル酸ヘキサミン・ウロナミン腸溶錠	本剤はヘキサミンの効果を減弱させることがある。	ヘキサミンは酸性尿中でホルムアルデヒドとなり抗菌作用を発現するが、本剤は尿のpHを上昇させヘキサミンの効果を減弱させる。

2) 併用注意（併用に注意すること）

本剤は制酸作用等を有しているため、他の薬剤の吸収・排泄にも影響を与えることがある。

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
大量の牛乳カルシウム製剤	Milk-alkali syndrome（高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等）があらわれることがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。	機序：代謝性アルカローシスが持続することにより、尿細管でのカルシウム再吸収が増加する。 危険因子：高カルシウム血症、代謝性アルカローシス、腎機能障害のある患者

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類・頻度	0.1～5%未満	0.1%未満	頻度不明
代謝異常 <sup>注)</sup>	—	—	アルカローシス、ナトリウム蓄積による浮腫等
消化器	胃部膨満	胃酸の二次的分泌（リバウンド現象）	—

<sup>注)</sup> これらの症状があらわれた場合には、減量又は投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているため減量するなど注意すること。

**【取扱い上の注意】**

貯法：気密容器に保管

**【包装】**

500g（ポリエチレン袋入り、外装紙箱）

**【主要文献及び文献請求先】**

恵美須薬品化工株式会社 西成工場  
大阪市西成区出城2-2-20 TEL (06) 6561 - 5016

**【製造販売元】**

恵美須薬品化工株式会社  
本社 大阪市中央区内平野町3-3-2  
工場 大阪市西成区出城2-2-20